

大麻泉小学校では「子どもの未来保障（石狩管内教育推進の重点）」を受け、今年度の重点目標を『夢の実現に向け行動する子どもの育成』としました。そして、連携・接続する3つの小中学校で「かんがえ、つたえあう子」「おもいやりのある子」「すこやかな子」というめざす子ども像を共有しています。全教職員でこの意識を共有し、「全教職員で全校児童を育てる」という考えのもと、『やさしさいっぱい』の大麻泉小学校の子どもたちを育てているところです。また、『笑顔で明るく楽しい学校』というめざす学校像の文言は、子どもの願いを基に設定することで、子どもに寄り添いながらその実現をめざしています。

教育目標 **やさしさいっぱい大麻泉の子**

○思いやりのある子ども（心） ○進んで考える子ども（知） ○明るく元気な子ども（体）

令和8年度も以下の取組を工夫・改善・進化させながら進めていきます

1. 令和5年度から始まった小中一貫教育が今年で4年目を迎えます。学校・地域・家庭が中学校卒業時点の子どもの姿を共有しながら9年間を通じて子どもを育てます。子どもたちの夢の実現に向けて、小中の教科書や教育課程の系統表を活用した系統的な指導に努めます。また、関係する3校（大麻東中、大麻東小と本校）で学習や生活のスタンダードを共有し、中学校進学時の不安を軽減する取組も進めます。

◆小中一貫教育でめざす子ども像（大麻東中学校区共通）

○思いやりのある子（心）・・・やさしい心で 協働できる子
○かんがえ、つたえあう子（知）・・・知性を磨き、表現する子
○すこやかな子（体）・・・自己実現に向けて心身を鍛える子

2. 授業では、子どもが主体となる授業づくりを進め、ICT を効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざします。また、教育活動全体では、「土器づくり」や「田植え体験」等、江別の歴史や産業につながるの体験的な活動を取り入れ、教科横断的に子どもたちに必要とされる資質・能力を育成します。
3. 学習内容が確実に定着するよう、AIドリル「スマイルネクスト」を効果的に活用します。また、情報図書館等と連携し「読書活動」の充実を図り、全ての学びの基盤となる豊かな語彙力を育みます。さらに、子どもたちの表現活動を大切に、表現する意欲を引き出します。
4. 「小中一貫教育」「えべつ型コミュニティ・スクール」等の機能を活かし、社会に開かれた教育課程の実現をめざします。夢をもち、夢を語りながら未来の社会を創っていく子どもたちのために、学校・家庭・地域が子どもたちの成長を喜び合い、「あたたかく」つながりあうコミュニティづくりを進めます。